

報道機関 各位

令和6年10月31日  
北九州市環境局**国連主導の「脱炭素」に関するイニシアティブに加盟**

アジア自治体初

～ 24時間365日再エネ供給の実現を目指します～

北九州グリーンインパクトの取組の一環として、国連主導の脱炭素に関するイニシアティブである”24/7Carbon Free Energy Compact”にアジアの自治体として初めて加盟しました。今後は、北九州市の再生可能エネルギーに関するポテンシャルを活かして、昼でも夜でも24時間365日、いつでも再エネが利用できるサービスを、アジアの自治体で初めて創設することを目指します。

これにより世界最高水準のエネルギーを求める先進企業等の市内への誘致を進めるとともに持続可能なエネルギーを利用して地元企業の競争力強化を支援します。

**1. 24/7 Carbon Free Energy Compact(24/7CFE)について**

2021年9月に国連主導で提唱されたイニシアティブであり、当該イニシアティブは蓄電技術等の活用により脱炭素エネルギーによる電力の同時同量の達成を目指している。GoogleやMicrosoft等の大手IT企業を含む世界165団体が加盟しており、日本国内の民間企業では、三菱電機株式会社や株式会社JERAなどを含む7社が加盟している。

**2. 24/7CFE への加盟後の北九州市の取組について**

北九州グリーンインパクト※では、グリーン産業の集積とともに再生可能エネルギー等の環境価値を提供することにより、市内企業の国際競争力の強化を図ることとしている。

北九州市には、豊富な再エネ発電量(再エネ発電量政令市1位)、多様な再エネの確保(バイオマス発電容量政令市1位)、蓄電技術の活用など、再エネの有効活用が可能となるポテンシャルが揃っている。このようなポテンシャルを活かして、24/7CFE 対応型の電力メニューの創設に向けて取組を推進する。

具体的には、令和6年度に需要家となる市内企業や市内に立地する再エネ発電事業者等のニーズ等を把握するための調査を行い、令和8年度には、地域新電力である北九州パワーと連携して、本格的に24/7CFE 対応型電力メニューの供給を開始することを目指す。

※北九州グリーンインパクト 詳細別紙

【問合せ先】 環境局再生可能エネルギー導入推進課  
村上(課長)、荏原(係長) 電話：093-582-2238

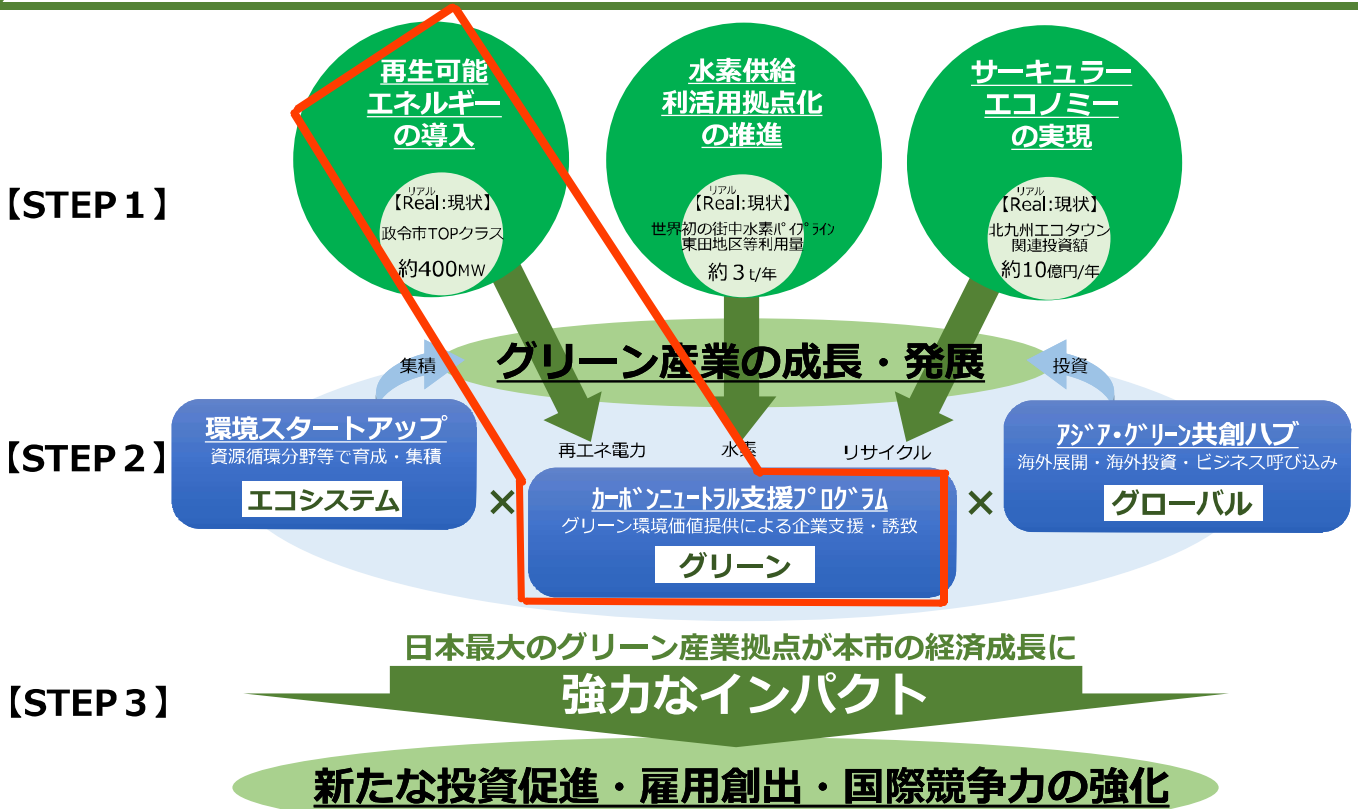
# 北九州グリーンインパクト(政策パッケージ)

## 背景・目的

- **北九州市において「環境」はアイデンティティであり、全国に先駆けて多くの政策を展開。**
- **市内では政令市トップクラスの再生可能エネルギーや国内最大級のリサイクル産業などグリーン産業が集積。また、大規模洋上風力発電の建設や水素拠点化の動きが加速しており、本市の強みとして『Real(現場・実物)』が存在。**
- **環境と経済の好循環によるゼロカーボンシティの実現を目指すとともに、日本最大のグリーン産業の総合拠点化が、本市の経済成長に強力なインパクトを与えることで、新たな投資促進・雇用創出・競争力強化に繋げ、「稼げるまち」の実現に貢献。**



## 北九州グリーンインパクトの全体像



## グリーンインパクトで『稼げるまち』を体現

【STEP 1】	【STEP 2】	【STEP 3】
<p><b>グリーン産業の成長・発展</b></p> <p>洋上風力、水素、リサイクルなど グリーン産業の成長・発展</p>	<p><b>グリーン×グローバル×エコシステム</b></p> <p>環境スタートアップの集積や、既存企業群等への環境価値の提供及び、グローバル展開等を通じたグリーン産業の更なる成長・発展</p>	<p><b>グリーンインパクトで『稼げるまち』</b></p> <p>日本最大のグリーン産業拠点として国内外から大きな投資を呼びこみ、成長し続けるまちの実現</p>